

群馬県立勢多農林高等学校 学校評価一覧表 ①(平成27年度版)

A 十分達成できた B 達成できた C やや達成できた D 達成できなかった

(様式1)

観 計 盤			方 策			第1回点検・評価			第2回点検・評価					
評価対象	評価項目	具体的数値項目	具体的な評価基準		担当	自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策 (1回目との比較)			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	1) コース制・選択科目等を導入している教育課程(カリキュラム)に生徒の80%以上が満足している。	・教育課程の評価・検討・見直し・生徒へのアンケート実施		A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教務	A	生徒アンケートより「満足している」、「ほぼ満足している」と回答した生徒が合わせて95%である。	A	生徒アンケートより「満足している」、「ほぼ満足している」と回答した生徒が合わせて95%である。今後選択科目について検討を行う。				
		2) インターンシップ(短期・長期)に生徒の80%以上の生徒が満足している。	・インターンシップ評価・検討・見直し ・受け入れ先の開拓 ・生徒へのアンケート実施		A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	農場 教務					B	生徒アンケートよりこの取り組みが「大変良い」、「良い」と回答した生徒が合わせて89%である。	A	生徒アンケートより「満足している」、「ほぼ満足している」と回答した生徒が合わせて91%である。連携先の開拓と事前・事後指導の充実を図る。
		3) 地域交流、地域貢献の活動、高大連携研究に全学科で取り組んでいる。	・各学科の特徴的な取り組みの検討 ・生徒の活動場面の設定 ・共同研究大学の開拓		A 全学科 B 5学科以上 C 4学科以上 D 3学科以上	農場 教務					A	全ての学科で取り組んでいる。共同研究先の開拓と内容の充実を図る。	A	全ての学科で取り組んでいる。共同研究先の開拓と内容の充実を図る。
		4) 学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	・生徒指導の充実・保護者への連絡・協力 ・二者・三者面談 ・生徒へのアンケート実施		A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	教務 生指					B	生徒アンケートより「大好き」、「好き」と回答した生徒が合わせて74%である。	B	生徒アンケートより「大好き」、「好き」と回答した生徒が合わせて73%である。魅力ある学校づくりに努める。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒実態に応じた指導を行っていますか。	5) 授業に生徒の80%以上が満足している。	・授業研究、授業評価票の利用 ・生徒へのアンケート実施		A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	教務	A	生徒アンケートより「満足している」、「ほぼ満足している」と回答した生徒が合わせて94%である。	A	生徒アンケートより「満足している」、「ほぼ満足している」と回答した生徒が合わせて94%である。教材の工夫、ICT機器の活用など、生徒にとって「わかる授業」を目指す。				
		6) 授業改善のための研修会を3回以上実施している。	・校内授業研究会の実施・教科・学科の授業改善研修会実施、 ・授業公開期間の実施、授業改善推進委員会の活性化		A 年4回 B 年3回 C 年2回 D 年1回	教務					A	現状では評価出来ない。年間4回を計画している。言語活動の充実、授業規律の確保に力を入れる。12月に職員研修を行う予定である。	A	校内授業研究2回、校内授業公開3回を2回実施した。外部講師などを招いた講演会を12月に実施した。
		7) 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が70%以上である。	・各教科での指導目標設定、実施、反省 ・評価基準の設定 ・シラバスの活用 ・生徒へのアンケート実施		A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	教務 農場					B	生徒アンケートより「取り組んでいる」、「ほぼ取り組んでいる」と回答した生徒が合わせて78%である。	A	生徒アンケートより「取り組んでいる」、「ほぼ取り組んでいる」と回答した生徒が合わせて80%である。目標設定を明確にし、魅力ある授業を目指す。
		8) 生徒クラブ活動に生徒の70%以上が満足している。	・農業クラブ関係(各種競技会・年次大会等) ・生徒会関係(文化祭、体育大会、部活動等) ・生徒へのアンケート実施		A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	生徒クラブ					A	生徒アンケートより「満足している」、「ほぼ満足している」と回答した生徒が合わせて89%である。	A	生徒アンケートより「満足している」、「ほぼ満足している」と回答した生徒が合わせて82%である。生徒の意見を聞き行事に反映させる。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	9) 身だしなみ指導、雨合羽着用指導、校内巡回指導を定期的に行っている。	・学期の始業、終業時 ・登下校時・昼休み時間 ・学年集会 ・前年度と同一の指導を継続 ・定期試験最終日		A 定期的 B 月1回以上 C 学期2回 D 学期1回	生指	A	定期的に実施している。非行防止のため今後も充実させる。目録化しないよう実施方法について検討する。	A	定期的に実施している。非行防止のため今後も充実させる。				
		10) 自ら進んで挨拶できる生徒が70%以上である。	・登下校時の挨拶運動の実施 ・職員、生徒へのアンケートの実施		A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	生指					B	生徒アンケートより「よくしている」「している」と回答した生徒が78%であった。職員アンケートより「よい」「ほぼよい」と回答した職員が84%であった。	B	生徒アンケートより「よくしている」「している」と回答した生徒が77%であった。職員アンケートより「よい」「ほぼよい」と回答した職員が94%であった。あいさつ運動の充実させる。
		11) いじめの未然防止、早期対応に努め、いじめの未解決件数が0件である。	・生徒へのアンケート実施 ・情報共有体制の確立 ・いじめ対策委員会を中心とした組織的対応		A 0件 B 1件 C 2件 D 3件以上	生指					A	1学期は発生件数なし。今後も未然防止、早期対応に努める。	A	発生件数なし。今後も未然防止、早期対応に努める。
		12) 遅刻率は0.7%(5人/日)以下である。	・遅刻指導と遅刻カードの利用 ・保護者への連絡 ・二者・三者面談 ・統計処理と活用		A 0.6%以下 B 0.7%以下 C 0.8%以下 D 0.8%超	生指 教務					A	一学期(69日間)の統計結果は0.4%である(前年同期比±0%)。本人への自覚を促すと共に家庭への連絡を徹底する。	A	12学期(147日間)の統計結果は0.5%である。(前年同期比±0%)。本人への自覚を促すと共に家庭への連絡を徹底する。
IV 生徒の主體的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	13) 欠席率は1.5%(10.5人/日)以下である。	・欠席指導 ・保護者への連絡 ・二者・三者面談 ・統計処理と活用		A 1.3%以下 B 1.5%以下 C 1.7%以下 D 1.7%超	生指 教務	A	一学期(69日間)の統計結果は1.2%である(前年同期比プラス0.2%)。	B	12学期(147日間)の統計結果は1.5%である。(前年同期比プラス0.2%)。家庭への連絡を徹底すると共に、教育相談等を活用する。				
		14) 学校での人間関係がスムーズに行っている生徒が80%以上である。	・生徒指導の充実・保護者への連絡・協力 ・二者・三者面談 ・生徒へのアンケート実施		A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	生指 教務					A	生徒アンケートより「良好である」、「ほぼ良好である」と回答した生徒が合わせて92%である。	A	生徒アンケートより「良好である」、「ほぼ良好である」と回答した生徒が合わせて94%である。二者面談等を実施して生徒の様子を把握する。
		15) 学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が70%以上である。	・定期的な進路情報の提供・計画的な進路指導・進路指導室の充実		A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	進路					A	生徒アンケートより「役立っている」、「ほぼ役立っている」と回答した生徒が合わせて82%である。	A	生徒アンケートより「役立っている」、「ほぼ役立っている」と回答した生徒が合わせて82%である。配布された資料の有効活用を図る。
		16) 進路通信を定期的に発行している。(発行予定 12回)	・進路通信の発行(12回)		A 年12回超 B 年12回 C 年6回 D 年3回	進路						現状では評価出来ない。各学年定期的に発行している。	C	今年度は年間発行6回であった。来年度に向けて内容を検討したい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	17) 進路関係の行事に積極的に参加したと自己評価している生徒が60%以上である。	・進路ガイダンス ・インターンシップ(短期・長期) ・企業訪問 ・学校訪問 ・学校等説明会 ・生徒へのアンケート実施 ・進路講演会		A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満	進路	B	生徒アンケートより「評価している」、「ほぼ評価している」と回答した生徒が合わせて67%である。事前・事後指導を充実させる。	B	生徒アンケートより「評価している」、「ほぼ評価している」と回答した生徒が合わせて67%である。事前・事後指導を充実させる。				
		18) 進路決定率は100%である。	・3年間の計画的な進路指導 ・三者面談 ・進路行事の定期的な実施 ・進路情報の提供		A 100% B 98%以上 C 96%以上 D 96%未満	進路						現状では評価出来ない。	B	99%の生徒が決定した。1年次から計画的な指導を行う。
		19) PTA総会、学年保護者会、支部懇話会等に1回以上参加している保護者が70%以上である。	・PTA総会での授業参観・講演会の実施(5月) ・支部懇話会(6-7月) ・修学旅行説明会(9月) ・保護者へのアンケート実施		A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	教務 PTA					B	保護者アンケートより「1回以上参加した」と回答した保護者が77%である。	B	保護者アンケートより「1回以上参加した」と回答した保護者が78%である。保護者に繰り返し参加を呼びかけよう。
		20) ホームページ(webページ)を公開し、毎月更新をしている。	・必須情報の選定(教務、生徒指導、進路指導、農場、各学科) ・関係の連携を密に行う		A 月2回以上 B 月1回 C 年6回以上 D 年3回以上	教務 情報					A	月2回以上は更新を行っている。最新の情報を適宜更新する。	A	月2回以上は更新を行っている。最新の情報を適宜更新する。
VI 適切な農場運営を行い、生徒の学習に効果的に反映していますか。	9 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	21) 学校からの配布物に目を通している保護者が80%以上である。	・保護者へのアンケート実施		A 90%以上 B 80%以上 C 50%以上 D 50%未満	教務	C	保護者アンケートより「すべて見ている」、「ほぼ見ている」と回答した保護者が合わせて79%である。	C	保護者アンケートより「すべて見ている」、「ほぼ見ている」と回答した保護者が合わせて73%である。メール配信を活用する。				
		22) 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年3回実施している。	・開校記念日の講演会 ・エイズ講演会 ・薬物乱用防止講話 ・進路講演会 ・交通安全教室		A 年4回 B 年3回 C 年2回 D 年1回	教務 生指 進路						現状では評価出来ない。年間4回以上の実施予定である。	A	年間5回実施した。講師の選定や実施期日について検討する。
		23) 主体的に農場施設等を利用し、学習に役立てている生徒が70%以上である。	・農業クラブ活動 ・放課後の当番実習 ・生徒へのアンケート実施		A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	農場					B	生徒アンケートより「役立っている」、「ほぼ役立っている」と回答した生徒が合わせて79%である。	B	生徒アンケートより「役立っている」、「ほぼ役立っている」と回答した生徒が合わせて77%である。農場の有効利用と農業クラブの活性化を図る。
		24) 農場の公開を定期的に年5回実施している。	・春・秋の農業祭 ・体験学習 ・オープンキャンパス ・農産物販売		A 年6回以上 B 年5回以上 C 年4回以上 D 年3回以上	農場						現状では評価出来ない。年間6回実施予定である。	A	年間5回実施した。地域の要望等を考慮して行う。